

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY 名古屋 ちくさ

題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会場 名古屋東急ホテル  
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
 会長 萩原 喜代子  
 幹事 渡邊 源市  
 広報・会報委員長 池森 由幸

No. 11 ローターリーを实践し みんなに豊かな人生を

2013~2014年度 RI会長 ロンドン, パートン

今日の例会  
 第1472回 平成25年 9月24日 (火)

### 友愛の日

先週の例会  
 第1471回 平成25年 9月17日 (火) 晴

### ガバナー公式訪問

(名古屋東・名古屋昭和・名古屋千種合同例会)  
 ホストクラブ: 千種RC

#### 《会長幹事懇談会》

11:30~12:30 葵の間



#### 《3RC合同例会》

- ◆君が代
- ◆それでこそロータリー
- ◆ビジター紹介

第2760地区 田中 正規ガバナー  
 第2760地区 榎原 勝俊地区幹事

#### ◆出席報告

会員	40 (36) 名	出席	33名
出席率	91.67 %		
前々回	9/3 (修正出席率)		100 %

#### 本多 満 東RC会長挨拶



1. お礼  
 1) 田中ガバナーの公式訪問を受けRI会長テーマ、ガバナー方針につき伺えることに感謝  
 2) 例会設営をして頂いた、千種RCの皆様へ感謝  
 3) 3RCの合同例会に多くの会員が参加されたことに感謝

2. First Class Badge について  
 ロン・パートンRI会長の提唱で R財団に地区の全会長が寄付すると First Class Badge がいただける活動が行われました。田中ガバナーが全会長に寄付を呼びかけられました
- 1) 実績 世界 538 地区 34,347RC  
 日本 34 地区 2,288RC (86,751 名)  
 日本で唯一 2760 地区が達成  
 First Class Badge が全会長にわたされました  
 素直によるこびたいとおもます
- 2) 田中ガバナーがパートンRI会長の提唱を受けとめ、地区内会長に熱心に寄付を呼びかけられ、会長がその思いに応えられた賜物です。
- 3) 地区内の各会長さんの思いは様々であったと思います。  
 積極的にとらえた方、義務的にとらえた方、  
 田中ガバナーを献身的に支えようと思った方、  
 田中ガバナーの強い思いがこの結果をもたらしたと思います。
- 4) 結果として、日本で唯一表彰された地区となりました。2760地区は、会員数では、日本のトップレベルであり、出席率の高さもトップレベル、R財団の活動もモデル地区に指名されることにもありますように注目される地区です。  
 R活動については First Class Badge でさらに誇ることが増えました。田中ガバナーに感謝いたします。

また注目される地区であることを意識し、田中ガバナー方針に従ってこの1年間、R活動を進めていくことをお誓いし、会長挨拶といたします。

## 大矢 英憲 昭和RC会長挨拶



皆様、こんにちは。

昭和クラブは、全員昭和生まれの会員でございます。

最年長が昭和6年生まれ82歳、最年少が昭和50年生まれ38歳。現在、会員数が54名でございます。しかしながら、創立時の65名、そして2760地区の平均会員数59名をも下回っている次第です。そ

ういった中、3年前より会員増強に力を入れております。

先日、ニュースを見ておりましたら良い案がありましたので、それを紹介したいと思います。

それは、長野県の川上村、奇跡の村と呼ばれている村です。場所は軽井沢の南の方で、群馬県、埼玉県、山梨県に近い所です。人口は4800名で、2760地区と同じくらいです。そこは生産量日本一のレタス、ブランド野菜などで1世帯当たりの平均年収が2500万円以上だそうです。若者の定着率も良く、都会の若い女性が多く嫁がれているという事です。

その理由は、

- ①悩み事を打ち明けあう若妻会がある
  - ②濃密な近所付き合い
  - ③教育の充実(図書館は24時間開館等)
  - ④医療の充実(訪問介護24時間体制)
  - ⑤観光がない静かな村である
  - ⑥メリハリをつけて夏には目一杯働き冬は目一杯遊ぶ
  - ⑦開放的で外国人労働者も受け入れる
- といった事があるそうです。

私共もこれを参考にして、入会3年未満の方に集まって頂いてフレッシュマン会議をしたいという事と、例会に出ない損をするという充実した例会を開催する。そしてお年寄りには優しく、最後の最後まで面倒が見られるようなクラブにしたい、といった事を考えています。それと同時に、海外の人達も受け入れて会員を増やしたいと思っている次第です。

なお、私共は、本年11月23日(土)、24日(日)に地区大会のホストを務めさせていただきます。田中ガバナーのご指導の下、細野実行委員長はじめメンバー全員が「お・も・て・な・し」の心で頑張りますので、よろしくお願い致します。

## 萩原 喜代子 千種RC会長挨拶



皆さま こんにちは

名古屋千種RCの会長をさせていただきます。本日は 田中ガバナー、榊原地区幹事

におかれましては、お遠いところようこそおいでくださいました。3RCメンバー全員 心より厚く御礼申し上げます。

例会に先立ちまして 3クラブの会長、幹事懇談会が開催されました。田中ガバナーよりとても有意義なお話を頂戴致しました。ありがとうございました。

さて、今年度の国際大会は オーストラリア・シドニーで開催されます。オーストラリアは 私にとって 想い出深い国でございます。特にメルボルンは、毎年日本の春に訪れておりました。

私は、海外に参ります時は必ずロータリーバッジを付けてまいります。

英語が からきしダメな私ですが、ロータリー バッジは 女性の一人旅には 最強のガードマンです。

機内には、必ずと言っていいほど外国のロータリアンがいらっしゃいます。バッジをご覧になると非常に嬉しそうにお声をかけて下さいます。そして 話がはずみません。スチュワーデスとも仲良しになります。

国内では まだまだ 知名度が低いと言われますが 海外へまいりますとこのバッジのおかげで 本当に楽しくリッチな旅をしています。

唯 お話しの中で「日本の何処から？」と問われて、「名古屋」と申しますと???と首をかしげて 申し訳なさそうな顔をされます。ですから「東京と大阪のまん中にあります。」と答えております。

ロータリアンであることの「幸せ」な 体験をお話し致しました。やっぱり私は ロータリークラブが 大好きです。以上で 会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## 講話 田中 正規ガバナー



皆さん、こんにちは。

ガバナーの田中正規と申します。西三河分区西尾ロータリーからやっております。

西尾ロータリーは今年で56年目になりますが、ガバナーとしては初めて出てきました。

先ほど会長幹事会をやりまして、三浦ガバナー補佐さんからの報告にもありまして、各クラブさん、素晴らしいクラブ運営と奉仕活動をされております。それから、この3クラブさんとは個人的にも前から親しくさせていただいております。ありがとうございます。

先輩ロータリアンの方には重複するかもしれませんが、このクラブは若い方も大勢おられると聞いておりますので、ロータリーの歴史からはじめます。

最初に1905年、ポール・ハリスが中心となって集まってロータリーをつくった4人の方ですが、左から鋤山技師のガスターバス・ローア、石炭商のシルベスター・シール。このシルベスター・シールさんは、ドイツの貧しい農家の生まれで、しかしながらアメリカに渡ってきて一生懸命仕事をして、もともと人に優しくして奉仕の心があるということから、シカゴロータリーの最初の会長になりました。その右隣がハイラム・ショーレーさん、最後がポール・ハリスさんです。これは背の順に並んでおまして、一番背が高かったのはポール・ハリスさんだと言われております。4人が最初に集ったのはガスターバス・ローアさんの事務所でありまして、シカゴのノースディアボン街、ユニティ・ビル7階11号室であります。これがガスターバス・ローアの事務所の看板、711、7階の11号室です。しかしながら、このビルは

1989年に取り壊されております。

1944年からは、イリノイ州のシカゴから北に20kmのところにあるエバンストンに国際ロータリーの世界本部があります。そのビルの一部に、創立当時の入り口のドアが残っておりまして、その中に当時の調度品がそっくりそのまま残されていると聞いております。

ロータリーの創立時は、己を慰めて自分たちの利益を追求すればよかった、そういう親睦の社交クラブでありました。その後、仲間を入れようとしたら「あなたのところみたいに内輪で勝手にやっていると、外に奉仕しないようなクラブはどうせ大きくならないから入らない」と言われて、初めて奉仕活動に踏み切りました。最初にやりましたことは、シカゴ市内に公衆トイレを設置した社会奉仕活動です。初め4人で始まったロータリークラブはそれから世界中に広がりました。

1917年、アーチC・クランプ会長が「世界でよいことをするために」という基金の設置を提案しました。この基金に寄せられた最初の寄附金は、わずか26ドル50セントでありました。その後、設立に至ったのが、国際ロータリーを支えるロータリー財団であります。2017年で創立100周年になります。

1919年、第1回国際協議会がシカゴで行われました。その年、フィリピンのマニラロータリークラブがアジアで初めてロータリーに加入しました。1921年に東京ロータリークラブが加盟承認されました。アジアで最初にロータリーができたのはフィリピンであります。今年11月の私どもの地区大会にRI会長代理で来られる方はフィリピンのバスターガバナーであります。ぜひ皆さんでお迎えしたいと思います。

1922年、「RI（国際ロータリー）」という名前が正式名称になりました。その1年後の1923年9月1日、先日新聞でもニュースでもやっていますが、90年前、関東大震災が発生しまして、10万人を超える犠牲者が出ました。そのとき世界中のロータリアンから送られた多額の寄附に東京ロータリーは驚きました。直ちに東京ロータリーは被災者支援活動を開始しました。日本のロータリアンが世界的ネットワークのロータリーの力を知り、団体としての人道奉仕に目覚めた瞬間でありました。ロータリーが団体奉仕を否定すれば、その後のポリオ・プラスや米山記念奨学会もなかったでしょう。「I Serve（アイサーブ）か We Serve（ウィサーブ）」という議論は不毛であります。

1940年、太平洋戦争にて日本のロータリーは脱退しました。

1943年、国際ロータリーは正式に四つのテストを採択しました。この写真におられるのはハーバート・テラーさん、1954-55年度にRI会長を務めたシカゴロータリークラブの会員であります。大恐慌後、倒産の危機に迫られたアルミニウム会社を助けようと作成した24語のテストがもとになっております。

1945年、終戦ですが、49名のロータリアンが国連憲章の起草に貢献しました。国際ロータリーは国連憲章採択会議でアドバイザーの地位を認められ、翻訳を提供し、出席間の論争の解決に努めました。国連設立当時から、ロータリーの支援は後に国連各機関との協力関係へ発展していきました。この1945年は国連ができた年ですが、日本が加盟できたのは、ずっと後の1956年です。

なお、来年名古屋でユネスコの国際大会があります

が、世界遺産で有名なユネスコ国際連合教育科学文化機関は、国連の専門機関であり、本部はフランスのパリにあります。日本は国連に加盟する5年前の1951年にユネスコに加盟しております。日本は米国に次ぐ最大の分担金拠出国です。

1946年に東京ロータリークラブをつくった日本のロータリーの創始者、御存じですね、米山梅吉さんが亡くなりました。その次の年、1947年にポール・ハリスさんは亡くなっております。翌年1948年に私が産まれました。

1949年に日本のロータリーは再承認されました。

1950年、米国ミシガン州デトロイトで開催されたRI国際大会で、ロータリーが二つの標語を正式に承認。「Service Above Self（超我の奉仕）」と「He profits most who serves best（最も良く奉仕する者、最も多く報いられる）」であります。「奉仕」という言葉はロータリーで非常によく使われます。日本人の奉仕とはニュアンスが少し違うと思います。アメリカ人の奉仕というのはステータスなのであります。米国では、奉仕しないと人として認められないというぐらい、奉仕活動がステータスとなっております。

1952年、東京ロータリークラブが、米山梅吉さんの偉業をたたえ、奨学事業の構想を立案しました。

1957年、単独で始まった奨学事業が、日本での文部省下の共同事業になります。また、この年はロータリー財団が財団プログラムの寄附者に対して、ポール・ハリスを初めとする認証プログラムを設立しました。偶然ですね。

1967年、財団法人米山記念奨学会が承認されました。話を現在に戻します。

私は本年1月14日から19日まで、米国カリフォルニア州サンディエゴの国際協議会にガバナーエレクトとして夫婦で出席しました。朝8時半から夕方5時半まで、8回の本会議と多くのワークショップ、パネル討論、アイデア交換などありました。

2012年-13年度は、日本から30年ぶりにRI会長に田中作次さんがなられ、そのおかげで日本からの理事や研修リーダーの方も大変熱が入っておりました。本会議で日の丸の入場と「君が代」が歌われ、大変感動しました。翌朝、日本から来たガバナーエレクトはみんな集まれということによって壇上に上りまして、「手に手つないで」を日本語で歌いました。これを合唱したことは大変よい思い出になりました。

理事の紹介後、2013年-14年度のRI会長ロン・バートンさんの紹介と挨拶がありました。

RI会長ロン・バートンさんは、本年度のテーマを「ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES」とされました。日本語は「ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を」とあります。私は、ロータリーに積極的に参加し、自分と周りを磨き上げ、輝かしい人生に変えていこうと理解しております。

日本人歓迎昼食会で、私は幸運にもロン・バートンさんと会食することができました。ロン・バートンさんは、ロータリーが他の団体と違うことは、高い倫理基準を推進していることで、「ロータリーは信用に値する」と、一緒に活動する他の人々から評価してもらえますということを言われました。

ロン・バートンさんは、RIの戦略計画、財団の「未来の夢計画」にも中心でかかわってこられました。

RI の戦略計画は、ロータリーの方向を決定づける重要な計画です。国や地域におけるロータリーの状況を調べ、各地域の強み、改善点、課題を決定しました。その中で「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」の三つは戦略計画の重要な事項であります。

より充実したプロジェクトをつくと、周りにより大きな影響を与えます。それをすることによって会員と支援者の増加につながり、支援の拡大になります。公共イメージの向上になり、寄附の増加が起きます。そして、それがクラブの強化となり、また、より充実したプロジェクトができるという時計回りの方向でクラブは活性化できます。

クラブのサポートと強化の目的は、クラブの刷新性と柔軟性を育てる／さまざまな奉仕活動に参加するよう奨励する／会員の多様性を増強する／会員の勧誘と維持を改善する／リーダーを育成する／ 戦略計画ですけれども、地区も戦略計画がありますが、各クラブの戦略計画を持って、5年先、10年先どういうクラブにしたいかを今から考えることが必要だと思います。それには皆さんそれぞれがリーダーですが、クラブのリーダーを育成する必要があると思います。

それから、人道的奉仕の重点と増加。RI が世界中で重点項目の1番に挙げるのは、何といってもポリオの撲滅であります。日本ではもう撲滅されておりますが、いまだ世界で三つの国、アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアが残っております。インドは数年前に撲滅できました。しかしながら、ポリオワクチンの接種を続けることによって、感染・発生を抑えるという大事な役目が絶えずあります。ポリオは、天然痘と違いまして、感染しても外からはわかりません。糞便で外に出て、経口感染して人にうつします。感染しても90%の方が症状は出ません。しかし、感染力は持っているわけです。10%でも、とりあえずワクチンを接種し、いつも高接種率で、これからのポリオ撲滅に、いろいろな問題もありますが御協力ください。

11月2日、3日、4日、地区で初めてポリオ撲滅のためのキャンペーンと、なおかつワールド・フード・フェスタを 久屋大通で3日間やります。これはロータリアンが集まること、ロータリアン以外の人にロータリーの活動を知っていただくこと、ロータリーの主な目標はポリオ撲滅だということを再度PRするために、日本で初めてやります。外国ではこういうチャリティーは当たり前のようにやられておられるそうですから、まず地区でやって見本を示して、各クラブでもやっていただければいいかなと思います。

次に、ほかの分野では、奉仕は新世代プログラム。新世代というのは、今年の規定審議会で青少年奉仕に変わりました。インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換、これら若者たちは将来のロータリアンであります。そのもとをつくる新世代、青少年を巻き込んで奉仕活動をすることによって、ロータリアンの活動がますます前向きになると思います。

それから、ロータリーの六つの重点分野があります。公共イメージと認知度の向上/イメージとブランド認知を調和させる/行動を主体とした奉仕活動を推進する/中核となる価値観を強調する/職業奉仕を強調する/クラブにおけるネットワークづくりの機会、ならび

にクラブ独自の主な活動について周知をはかるよう奨励する/であります。

中核となる価値観は「奉仕」「親睦」「多様性」「高潔性」「リーダーシップ」の五つであります。この五つの中核となる価値観は、ロータリーのDNAであります。

ポリオはRNAですけども、ロータリアンはDNAを持っております。ロータリーの木でいえば、根っここのことです。これは108年続いてきたロータリーの根幹であります。この根本があって、幹であるクラブ奉仕、職業奉仕ができて、花となり実になるものが青少年奉仕、国際奉仕、社会奉仕と私は思っております。

ブランドの強化というのは、ロータリーとは何であり、何をしている団体かを伝え、活動と目標を多くの人に伝える方法を改善することです。公共イメージのアップのために、ロータリーがやっていることをPRすることはあります。そのためには、私たちはロータリーのルーツを伝えなくてはなりません。ロータリーのユニークさを伝えることです。ロータリーのメッセージを伝える。ロータリアンやクラブの意欲を高める。人に伝えるためには、まず自分たちがロータリーを知っていないといけないと思います。大体知っていると思いますけれども、ロータリーってどんなクラブかなと詳しく聞かれた場合、少なくとも一つ二つ答えがすぐ出るとよろしい私は思います。それぞれ自分がロータリーに入った思い、何で入れたか、ロータリーは何であるか、を一つ二つ持っておくことが必要だと思います。

今年度、RI 会長ロン・パートンさんの強調事項は「会員増強の推進」「ロータリー財団を通じた人道的奉仕の充実」「ロータリー・ファミリーを通じたネットワークの強化」であります。この強調事項をみんなクリアした場合、会長賞がもらえます。

ロータリー財団を通じた人道的奉仕というのは、平和と紛争予防・紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生設備、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展。この6項目に限り財団からグローバル補助金の対象になります。

地区の方針は、RIの方針から、「会員の意識向上」「クラブのパワーアップ」「地区の改革」「会員増強」とさせていただきます。2760地区のキャッチフレーズは、もう皆さん知っていますね。「磨いて輝こう」です。輝いてから磨いても間に合いません。まず磨いてから輝いてください。

[DVD 上映]

「ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES」は、ロン・パートンさんから聞いたところによると、アーサー・シェルドによる「He profits most who serves best」と同じ意味であると私は伝えられました。

皆さんも「ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES」、自分にとって一番それがすばらしいことであると。

よろしく願いいたします。

※ニコボックスは次回掲載させていただきます



次回例会：平成25年10月1日(火) 4F 舞の間  
優良従業員表彰